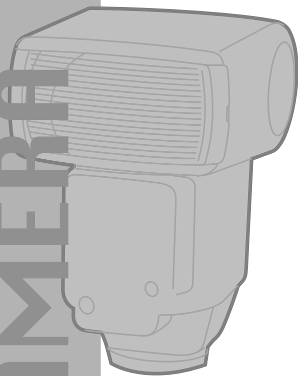
CAMEDIA DIGITAL CAMERA



# 8

# 別売品を使う

# 家庭用電源を使う～ACアダプタ

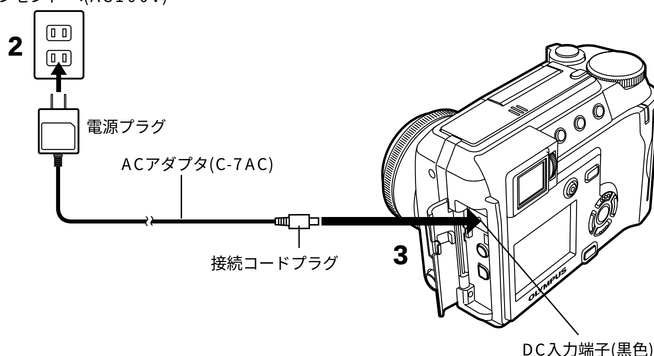
家庭用コンセントを使う場合は専用のACアダプタ(C-7AC)が必要です。（専用のACアダプタ以外は絶対に使わないでください。）また、電源は必ず100Vでご使用ください。

**1** **カメラの電源が切れていることを確認します。**

**2** **ACアダプタの電源プラグを、コンセントにしっかりと差し込みます。**

**3** **カメラの端子カバーを開けて、DC入力端子に接続コードプラグを接続します。**

**4** **使用後は必ずカメラの電源を切り、接続コードプラグをカメラから抜き、次に電源プラグを家庭用電源コンセントから抜きます。**




**注 意**

- 「安全にお使い頂くために」およびACアダプターの取扱説明書を必ずお読みください。
- カードアクセス中のACアダプタの抜き差しは絶対に行なわないでください。

# 外部フラッシュ

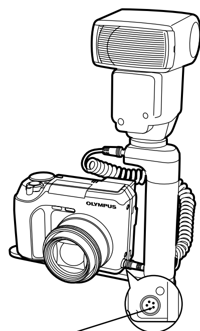
専用外部フラッシュFL-40で、多彩なフラッシュ撮影を行うことができます。
専用外部フラッシュのみを使っての撮影および、内蔵フラッシュと併用しての撮影もできます。
専用外部フラッシュFL-40とカメラを接続するには、専用のフラッシュブラケットFL-BK01（別売）と専用ブラケットケーブルFL-CB01（別売）が必要となります。

## 専用外部フラッシュと内蔵フラッシュを併用して撮影する

専用外部フラッシュを使う場合、カメラのフラッシュモード、露出設定を自動的に検出するため、内蔵フラッシュと同様に扱うことができます。
内蔵フラッシュと外部フラッシュの併用は、内蔵フラッシュでキャッチライト効果を得る等、高度なフラッシュ撮影が可能になります。

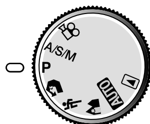
**1 外部フラッシュFL-40を専用フラッシュブラケットに取り付け、カメラの三脚穴に固定させてから、専用ブラケットケーブルをフラッシュブラケットとカメラの外部フラッシュ端子に接続します。**

- 専用外部フラッシュ・フラッシュブラケット・ブラケットケーブルそれぞれの取扱説明書もお読みください。
- 外部フラッシュ接続端子のキャップはネジ式ですので、接続の際はキャップを廻して外し、ご使用ください。



外部フラッシュ端子

**2 モードダイヤルを使いたいフラッシュモードができる位置にします。****（P. 81）**



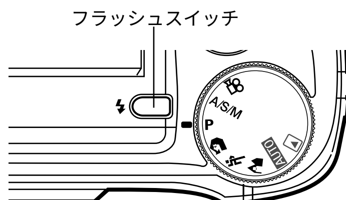

**3 外部フラッシュの電源を入れます。**

- 外部フラッシュのモードは、「TTL-AUTO」になります。

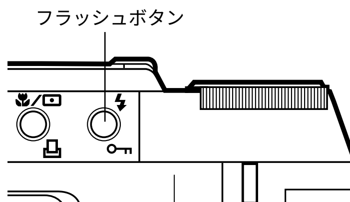
次ページに続く

8
別売品を使う

**4** ⚡（フラッシュ）スイッチを押して、内蔵フラッシュを起こします。




**5** ⚡（フラッシュモード）ボタンでフラッシュモードを選択します。(P. 80)




**注意**

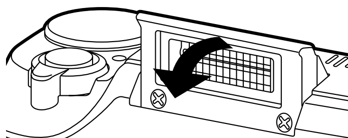
- 近距離撮影時、露出がオーバー（明るすぎる）になる場合があります。内蔵フラッシュをお使いください。
- 内蔵フラッシュとFL-40を両方発光させる場合は、内蔵フラッシュは補助光源として発光しますので、FL-40の光量が不足する場合は露出が小さくなります。



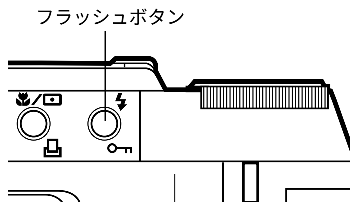
## 専用外部フラッシュのみを使って撮影する

「専用外部フラッシュと内蔵フラッシュを併用して撮影する」(P. 183)の手順**1**〜**3**を行います。

**4** カメラの内蔵フラッシュが収納されているか確認します。内蔵フラッシュが起き上がっていたら、収納します。



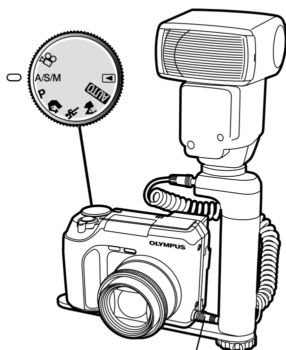
**5** ⚡（フラッシュモード）ボタンでフラッシュモードを選択します。(P. 80)



## 市販の外部フラッシュのみを使って撮影する

専用フラッシュブラケットFL-BK01（別売）と専用ブラケットケーブルFL-CB01（別売）を使って、市販の外部フラッシュも使用できます。
接続できる外部フラッシュの条件については、「使用できる市販の外部フラッシュについて」（P.186）をお読みください。

**1 外部フラッシュを専用フラッシュブラケットに取り付け、カメラの三脚穴に固定させてから、専用ブラケットケーブルをカメラの外部フラッシュ端子に接続します。**



外部フラッシュ端子

**2 カメラのモードダイヤルをA/S/Mにして、Mモードにします。シャッター速度と絞り値を設定します。(P. 60)**

- シャッター速度を遅く設定した場合、画像がぶれて撮影されますので注意してください。またフラッシュの効果を出すため、シャッター速度は1/200～1/300 までに設定されることをおすすめします。

**3 外部フラッシュの電源を入れます。**

**4 外部フラッシュ側で、発光量を自動（オート）に設定し、外部フラッシュのISO・絞り値をカメラのISO・絞り値に合わせます。**

- 外部フラッシュでのモードの選択の方法は、各フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

**注意**

- カメラのフラッシュモードは、市販の外部フラッシュには適用されません。外部フラッシュは、カメラのフラッシュモードが発光禁止でも発光します。
- お使いになるフラッシュがカメラに同調するかどうか、あらかじめ確認してからお使い下さい。

## 使用できる市販外部フラッシュについて

**外部フラッシュを選定する際に、下記の基本条件を満たす製品をご使用ください。**

（1）市販のフラッシュには、シンクロ端子が高圧タイプのものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、正常に機能しない場合があります。お使いのフラッシュのシンクロ端子の仕様については、フラッシュのメーカーにお問い合わせ下さい。
（2）市販のフラッシュには、シンクロ端子の極性が逆の機種があり、この場合接続しても発光しません。フラッシュのメーカーへご相談下さい。
（3）外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で調節する必要があります。
外部フラッシュをオートモードでご使用になる場合は、カメラで設定されているF値とISO感度に合わせることのできる製品をお使い下さい。
（4）外部フラッシュのオートF値やISO感度をカメラと同条件に設定しても、撮影条件によっては適正露出にならない場合があります。このような場合は外部フラッシュ側のオートF値かISO値をシフトするか、マニュアルモードで距離を計算してご使用ください。但し、オートF値、ISO値のシフトは1段刻みが一般的でそれ以下の露出補正は出来ません。（カメラ側の露出補正は外部フラッシュ撮影においては無効となります。）
（5）照射角度は35mmフィルム換算で、38mmレンズ以上カバーする製品をご使用ください。但し、ワイド側の近距離撮影においては、画面下がけられる場合があります。フラッシュの配光を広げるワイドアダプタが付属されているものが理想的です。
（6）フル発光時の閃光時間が1/200秒以下の製品をご使用ください。
リングフラッシュ等閃光時間が長いものは、光の一部が露出に寄与しなくなる場合があります。
（7）**FL-40以外の通信機能付きフラッシュ、およびその付属品をお使いになると正常に機能しないだけでなく、故障の原因となる事がありますので使用しないでください。**

# 別売品のご案内

2001年2月現在

**● CAMEDIA Master 2.5（C-90PJ2）**
**● スマートメディア(8MB/16MB/32MB/64MB/128MB)**
**● 外部フラッシュ(FL-40)**
**● フラッシュブラケット(FL-BK01)**
**● ブラケットケーブル(FL-CB01)**
**● プリンタ (P-400/P-200/P-330N)**
**● ACアダプタ (C-7AC)**
**● 充電器セット（ニッケル水素電池４本付）(BU-40SNH)**
**● ニッケル水素電池 (B-03NH16)**
**● PCカードアダプタ (MA-2)**
**● フロッピーディスクアダプタFlashPath (MAFP-2N)**
- DOS/V: Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 Professional
- PC-9821: Windows 95(OSR2以降)/98
- Power Macintosh: Mac OS 7.5.1〜9.0（Read only)

**● スマートメディア・リーダ／ライタ**
- 64MBスマートメディアまで対応
- Windows 98/Me/2000 Professional、Mac OS 8.6〜9.0用

**別売品の最新情報については、オリンパスホームページ(http://www.olympus.co.jp)をご覧ください。**